

ワークショップの趣旨・目的

蒲江市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲江市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

このワークショップは、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、これから起こる様々な社会の変化や地域の課題に対応した既成概念にとらわれない、より良い公共施設の配置や使い方を考えるために開催するものです。

蒲江市公共施設マネジメント基本方針

- ①適正化 将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します。
- ②効率化 効率的・効果的な維持管理を実施します。
- ③魅力 社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します。
- ④安全性 計画的な保全により公共施設を安全に維持します。
- ⑤実行力 公共施設の再編に向けて実行体制を構築します。

市は、皆様のご意見を反映させた西浦地区の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

第4回ワークショップの結果概要（案）

1 視点ごとの評価項目

① 地区の活性化（まちづくり）

- 施設間の関係性だけではなく、道路整備や住宅の計画による地域活性化など、もっと広い意味で地域活性化を考えて評価をしたいが、地区のまちづくりの全体ビジョンの議論が中途半端なままになっている。道路整備や住宅の計画による地域活性化なども踏まえた上で評価したい。

【イ】

- C案では、小学校や保育園が複合化されて地域の一体感が高まる要素はあるが、中学校が移転することで地域の一体感が下がる側面もあるため、◎ではなく○ではないか。
- 「一体感」という言葉が抽象的でわかりにくい。何を達成しようとしているのか明確になっていない。

【ウ】

- 住民同士や世代間の交流機会の増減が公共施設の再配置の影響を受けるとは思えない。項目自体が必要ないのではないか。
- 公共施設の再配置が住民同士や世代間の交流機会に影響を与える可能性も否定できないので、項目の削除や評価の変更の必要はないと思う。

【エ】

- 公共施設の再配置が、西浦地区の地域性に影響を与えるとは思えない。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

② 人口減少・少子高齢化社会への対応

【オ】

- いきがいつくりは個人の問題であり、公共施設の再配置とはあまり関係がないと思う。いきがいは高齢者になってから探すのではなく、若い時から自分で見つけていくべきものではないか。
- D案では公民館が高台に移転するので高齢者が行きづらくなる。今よりも高齢者の生きがいつくりにつながらない可能性が高いので、評価は○ではなく△ではないか。

【カ】

- C案では、小学校に公民館や保育園が複合化されて世代間交流が増える可能性があるが、一方で中学校が移転するため交流が減る側面もある。評価は◎ではなく○ではないか。

【キ】

- 中学生であっても怪我や病気の際に送迎する可能性があるので、「送迎の利便性」の評価には中学校も含めるべき。C案では小学校や保育園の複合化で送迎の利便性が上がるが、中学校は移転するため利便性が下がる。また、小学校に児童館や保育園が複合化されると送迎時に混みあうことも考えられるので、C案の評価は◎ではなく○ではないか。
- 小学校と保育園が複合化されないB案だけが評価が○と低いが、現小学校敷地と現中学校敷地は評価に差をつけるほど離れているとは思えない。
- 中学校敷地に小学校が移ると送迎の負担は大きくなると思う。両敷地の距離の差があるので、評価が異なるのは妥当ではないか。
- 地区内のどこに住んでいるかによって利便性の差が大きい。どの地区を基

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

準に考えるかで評価にも違いが出てくるのではないか。

【ク】

- 「子どもを見守る環境」については中学生のことも考慮に入れるべきだ。C案では小学校や保育園の複合化で見守りの環境が向上する要素はあるが、中学生が地区から離れて大人の目が行き届かなくなるのに加え、中学生が地域の小学生以下の子どもに目を配る面も減るため、一長一短もしくはマイナスの方が大きい。評価は◎ではなく○か△ではないか。

【ケ】

- 小学校と保育園の複合化で子ども同士の交流が増える要素はあるが、中学校が移転することで中学生と交流する可能性が減る面もあるため、C案の評価は◎ではなく○ではないか。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

③ 教育環境の適正化

- 教育環境についてはワークショップ参加者ではわからないことが多いので、わからずに判断して再編した後でいろいろな問題が起きないか心配だ。教員などの現場をよく知る人や当事者である生徒の意見を聞くべきだと思う。
- 学級崩壊が起きていないかなどの子ども達の現状や教員の負担といった定性的なデータと、現状や統合後の生徒数、教員数、クラブ数などの定量的なデータの両方から見た教育の状況がわからないと、教育環境の適正化の評価は判断できない。ワークショップで議論するなら、後に問題が起きない様にそういったデータを示してほしい。
- 生徒数が増えれば教育環境が良くなると単純に考えているように思えるが、そんな単純に判断してはいけないと思う。
- 小学校と中学校が一緒にあることにより交流が生まれる。
- 小学生にとっては中学生が近くにいと交流があつて良いだろうが、高校につながる学習、部活、生活の場を整えることを考えると、中学生にとっては形原中と統合された方が良いのではないか。

【サ】

- 西浦中学校にあって形原中学校にない部活が、形原中学校に統合されることで無くなってしまふかもしれない。生徒数が増えると部活の選択肢が増えるとは言い切れないし、将来的には部活動のあり方そのものが変わってくる可能性もある。
- 生徒数が増えれば部活の選択肢が増えるのは一般的な事実だと思う。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

【シ】

- 一緒に勉強する人が増えて中学生にとっては切磋琢磨する機会が増えるかもしれないが、小学生にとっては中学生と接触して研鑽する機会が減るため、C案の評価は◎ではなく△ではないか。

【ス】

- C案では小学校と中学校が物理的に離れてしまうので、小中学校の連携のしやすさは現状維持ではなく現状より低下すると思う。C案の評価は○ではなく△ではないか。

【ソ】

- 子どもと住民との交流機会なら、学校と公民館の複合だけでなく保育園と公民館の複合も評価するべきだ。
- 保育園は教育とは異なる範疇だと思うので、ここでは学校だけで評価すれば良いと思う。
- C案では中学校が移転するため「学校と地区住民の交流」が現状より低下する。小学校と公民館が複合すれば交流の機会が増えるとは言えないと思うので、C案の評価は◎ではなく△ではないか。
- D案では公民館が高台に移転し高齢者が行きづらくなるので、「学校と地区住民の交流」は現状より低下すると思う。D案の評価は◎ではなく△か○になるのではないか。

【タ】

- 中学校の移転により地区内で運動会が開催されなくなると、地区としての盛り上がりが低下するためC案の評価は○ではなく△ではないか。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

【チ】

- 様々な施設が複合されたり、保育園と複合されることによる中学校の学習環境の変化には、施設配置の工夫や防音対策で対応できるのではないか。
- 保育園と中学校が一緒になると中学生の学習の妨げになるかどうかは、現場の先生に聞いてみないとわからない。既に一緒になっている学校では、中学生が保育体験できるなどの教育的なメリットがあったという話も聞いたので、一長一短なのではないか。

【ツ】

- 小学校敷地に施設が集中するA案では、グラウンドや体育館の共同利用は可能でも、現在よりも制約を受けると思われるので、△の評価は妥当だと思う。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

④ 災害時の対応

- 避難所収容人数や浸水予想地域など、防災に対する判断が甘いと思う。
- 防犯の視点が抜けているので、防犯面の評価項目を入れるべきだと思う。

【テ】

- 現状の運用を前提とするとC案の収容人数は他の案よりかなり少ないのに、結果的に全ての案が同じ評価になるのは疑問だ。
- 公共施設再編と災害時対応策は直結していないと思うので、全ての案の評価が○でも良いと思う。

【ト】

- 津波時の避難所確保は、全ての案で現状と変わらない○の評価になっているが、現状で住まいから指定の避難所までが遠いので、再編でそれを改善することはできないのか。

【ナ】

- C案の「親が子どもを安全に引き取りやすくなったか」の評価が○になっているが、中学校が形原に移転するのだから△ではないか。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

⑤ アクセシビリティへの配慮

【ネ】

- 地区でまとまって通学したり、スクールバスを運行することによって、遠方に通学する場合でも安全性は確保できるのではないか。そういう付帯条件をセットで考えれば評価は異なってくると思う。

【ノ】【ヒ】

- 駐車場は広ければ広い程良いと評価している傾向があるが、イベントの際に特設などで対応できる場合は、平常時を中心に確保すべき台数を決めて良いのではないか。

【ハ】

- 現在利用しにくい公民館の状況を基準にして、再編しても今と変わらないものが〇の評価になっていることに違和感がある。現状よりも良くなる方策を求めたい。

⑥ コスト

- 子ども達の将来の負担を考えるとコストも重要な判断基準だと思う。
- コストは重要だが、100点満点中の25点分を占めるのには違和感がある。地域コミュニティや学校教育のことをもっと重視して評価したい。

2 評価方法に関する意見

- 点数で示してしまうと全ての項目を同じ重さで判断することになってしまうが、項目によって重視すべき度合いが違うと思う。◎、○、△の合計数を示し、どの項目でどんな評価がされているかといったざっくりとした分布を見て、判断をした方が良いのではないか。
- 学校は今回の公共施設再編で大きく影響を受けるので、再編はより良い教育環境を実現するチャンスだと思う。評価の際には「教育環境の適正化」の項目にもっと重点を置いてほしい。
- 評価の妥当性を判断するには、現状の西浦中学校と形原中学校の部活動の種類などのデータが必要だと思う。学校の先生などの現場の意見や専門家の意見も聞いた上で判断してほしい。

3 提案されている再配置プラン案に対する意見

- B案は、異年齢の人たちの交流ができる配置であり、まだ建物の新しい児童館をそのまま活用できるので期待が大きい。
- 形原地区と中学校が統合されるC案では、教育環境の改善が期待できる。ただ、西浦中学校が形原中学校へ編入する選択肢しかないような印象があるが、敷地はどちらの地区になろうが統合して新しい中学校を作るという考えで取り組まないと教育環境の改善は難しいと思う。
- 中学校を形原に編入するC案の得点が高いのを見ると、「西浦地区が我慢して編入を受け入れれば良いということか」と思ってしまう。C案は教育の面から考えれば良いと思うが、形原地区への人口流出を招く可能性があるため地区活性化の点では疑問を感じる。
- 海に見える西浦の生活環境が評価されて、今後は人口が増える可能性が高いと思う。先端技術の大学を誘致して若い世代を増やすなど、地域活性化に

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

取り組めばいま無理に再編を実施する必要はなくなるのではないかと。

- 今の施設配置が一番良いと思うので、できるだけ各施設が今の場所に残せるのがベストの案だと思う。複合化するとしても公民館を小学校に入れるくらいではないか。少なくとも、小中学校は別々にあった方がよい。
- 児童館の建物はまだ新しく、非常用電源も備えているので、今のまま使い続ける方が良いと思う。
- 児童館を移転した場合は建物を民営を基本としたカフェにする、再編によって空いた市有地を駐車場として利用するなど、再編後に残る建物や土地は地域住民の生活に寄与する形で有効活用してほしい。

4 再配置プラン案の新規提案

- 『中学校は小学校敷地に移転して複合化し、公民館と児童館は保育園敷地に移転して複合化する案』を提案したい。小学校と中学校が複合化されるので教育環境の充実が図られるし、A案の問題である「機能を集約しすぎていること」や「保育園児と中学生が同じ敷地にいることによる不具合」が解消できる。
- B案とD案では2つの拠点が高の上下に分離してしまい相互の連携が難しい。丘の下に2つの拠点を作ることができれば、駐車場の融通や活動の連携がしやすくなり、保育園、小学校、児童館の送迎の利便性も向上する。
- 『A案をベースとし、保育園は今の立地のまま独立させる案』を提案したい。保育園を別にすれば園児はのびのび過ごせし、中学生は落ち着いて学習ができるだろう。
- 各案とも児童館をそのまま残すバージョンがあっても良いのではないかと。

進め方とスケジュール

1

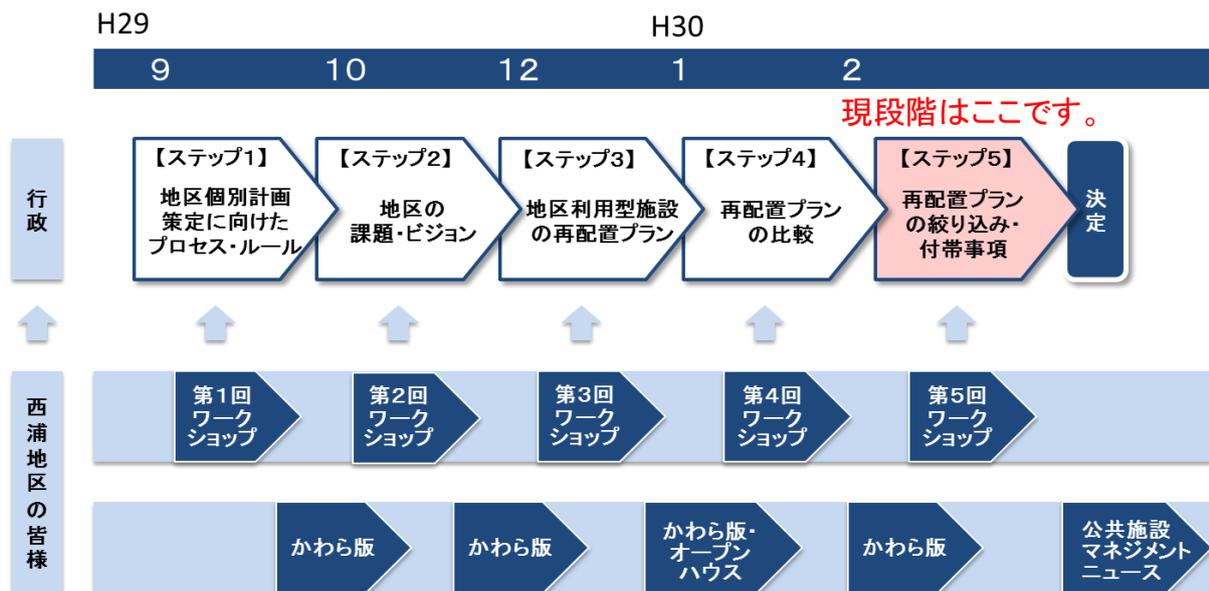
検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランの評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき比較・評価します。
- ステップ5** 再配置プランの絞り込みをします。

2

スケジュール（予定）



第4回ワークショップ ふりかえりシートご意見

1 今日の議論で良かったこと

- 良かった！理由 知識を皆様が充分把握している。
- 4回目となり、新たな案が出て良いと思った。
- さまざまな意見が聞かれて良かった。資料が多岐にわたっていて良かった。
- 教育関係者の生の情報が聞けてよかった。
- メンバーは少なかったがメンバーが各案に対して意見、議論が出来たのが良かった。
- A、B合同

E案

小←中

保←公

↑
児

意見を持っていたので聞いていただいてありがとうございました。

2 内容について言い足りなかったこと

- 住民より町づくり 住んでよかった事も議題！
- 市主導で資料が作られている点が強調されていたように感じられた。ワークショップのメンバーの意見が自由に話す時間が少なかった。結果ありきの進め方があるように思われた。
- 各案（A案～D案）の見える化（◎○△でなく）
- 評価方法 p.18に C案について
C案 — 小学校＋西保＋児童館＋公民館、
C'案 — 中学校（形原中学校へ合併） に分けて評価したらどうか。
そうすればC案 カ,キ,ク,ケ は○に、ス,セ,ソ,タ は下げてはどうか。
- 現場、生徒の意見を聞くべきであり、この会議で決めることではないと思う。色々な意見を参考に決めていただいで欲しいと思います。
- 中学校を形原中学校に編入することについて、西中生徒さんの意見を聞いてみたい（アンケートとか）。

○学校別 児童生徒・学級・教員数一覧表

小学校	児童数	学級数			教員数
		普通	特別支援	合計	
大塚小学校	297	12	4	16	22.0
三谷小学校	212	9	2	11	16.0
三谷東小学校	322	12	4	16	22.0
蒲郡北部小学校	319	12	4	16	21.0
蒲郡西部小学校	70	6	2	8	13.0
中央小学校	309	13	4	17	22.0
蒲郡南部小学校	322	12	2	14	21.5
蒲郡東部小学校	293	12	2	14	19.0
竹島小学校	338	12	3	15	21.5
塩津小学校	526	18	5	23	33.5
形原小学校	331	12	4	16	22.5
形原北小学校	534	17	5	22	29.0
西浦小学校	245	11	2	13	19.0
小学校計	4,118	158	43	201	282.0
中学校	生徒数	学級数			教員数
		普通	特別支援	合計	
大塚中学校	151	6	1	7	16.0
三谷中学校	291	9	2	11	23.0
中部中学校	336	11	2	13	24.0
蒲郡中学校	482	15	3	18	30.0
塩津中学校	260	9	2	11	24.0
形原中学校	491	15	5	20	31.0
西浦中学校	95	3	2	5	13.0
中学校計	2,106	68	17	85	161.0
合計	6,224	226	60	286	443.0

(平成29年4月1日現在)

※教員数は校長・教頭及び日本語指導教諭などを含んだ人数

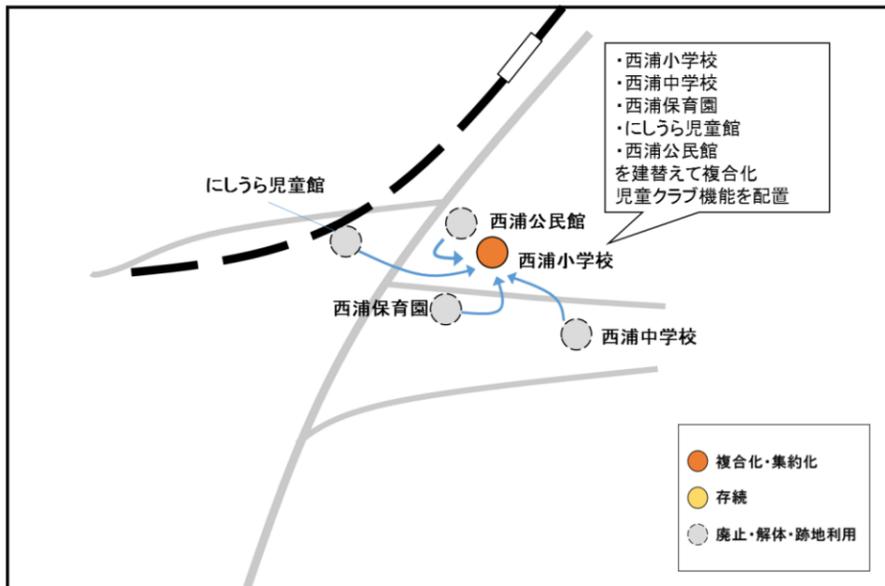
※教員数の小数点以下があるのは、複数の学校を兼務している教員がいるため

A

施設を集中させて地域の拠点をつくるプラン

【重点を置いた解決策】1 2 9 10

- 西浦小学校に、西浦中学校、西浦保育園、にしうら児童館、西浦公民館を複合化し、教育・地域活動の拠点を形成します。



特徴

- 地域の中心となる拠点ができることによって、地域の行事や活動を一体的にできたり、多様な方々の交流が活性化される。
- 保育園から中学校が1ヶ所にあることで合同での行事実施や異なる年齢間での交流が期待できる。

【関連する解決策】1 2 3 4 7 8 9 10

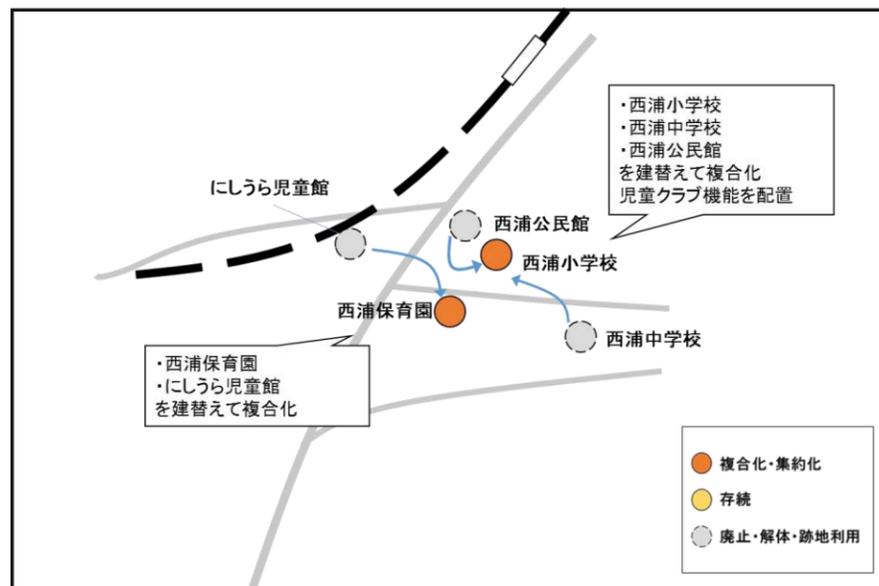
課題

- 児童館の建物は比較的新しく、複合化後の活用方法について検討が必要である。
- 小学校の敷地面積では、必要な機能を十分に確保することは難しい可能性がある。

A'

利便性の高いエリアに機能を集めて地域の拠点をつくるプラン

- 現西浦小学校と現西浦保育園の敷地を活用し機能を集めます。
- 西浦小学校に、西浦中学校と西浦公民館を複合化し、西浦保育園に西浦児童館を複合化します。
- 西浦保育園とにしうら児童館は、当面は現地に残し、適切な建替え時期に現西浦保育園敷地で複合化します。



特徴

- A案の、「集中しすぎて機能の十分な確保が難しい」という課題が解消できる。
- A案の、学校と保育園・児童館が隣接していることによる学校での学習環境の低下についての課題が解消できる。
- 駐車場の融通や運営面での連携など、エリアで一体的に利用することで、行事や活動の一体的な実施や多様な方々の交流が期待できる。

課題

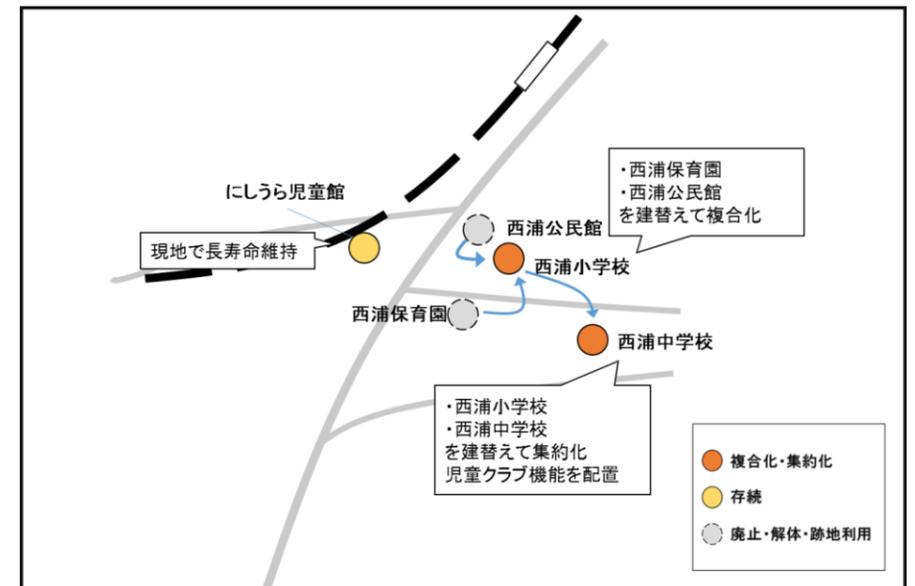
- 借地である現西浦保育園敷地を利用し続けることになり、コスト縮減額でA案に劣る。

B

多世代の交流拠点と教育の拠点をつくるプラン

【重点を置いた解決策】2 8

- 西浦小学校の敷地に、西浦保育園、西浦公民館を複合化し多世代の交流拠点を形成します。
- 西浦中学校に西浦小学校を集約化し、教育の拠点を形成します。



特徴

- 小学校敷地に保育園と公民館を複合させることで、地域で子どもを見守る環境づくりが期待できる。
- 小中学校の集約化により教育環境の充実が期待される。
- アクセス性のよい小学校敷地と高台にある中学校敷地の両方に避難所機能を設置することができる。

【関連する解決策】2 3 4 6 7 8 9 10

課題

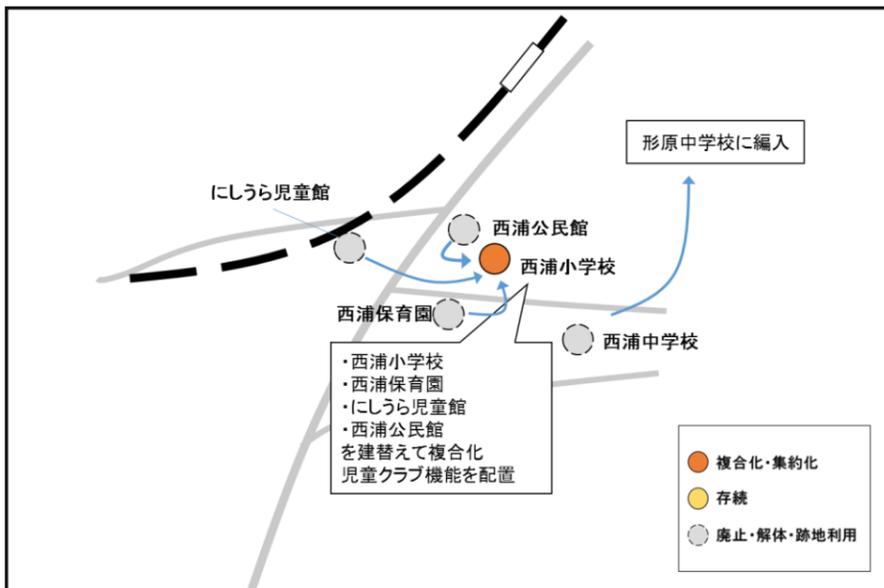
- 小学校が高台の中学校敷地に移転することで、児童にとって通学時の負担が大きくなる。

C

西浦中学校を 形原中学校に編入するプラン

【重点を置いた解決策】15

- 西浦中学校を形原中学校に編入します。
- 西浦小学校の敷地に西浦小学校、西浦保育園、にしうら児童館、西浦公民館の複合施設を配置し、教育・地域活動の拠点を形成します。



特徴

- 地域の中心となる拠点ができることによって、地域の行事や活動を一体的にできたり、多様な方々の交流が活性化します。
- 保育園から小学校までの一貫した子育て環境をつくりやすい。
- 中学校が他地区と統合されることで、中学生の選択や競争の機会を増やすことができる。

【関連する解決策】12345791011

課題

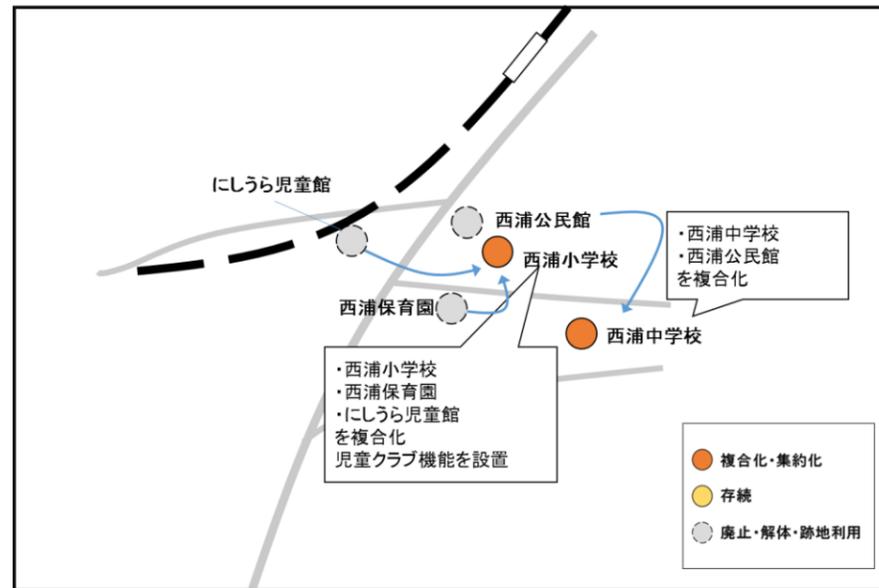
- 中学校の統合に伴い、安全に通学できるようアクセス性に配慮する必要がある。
- 児童館の建物は比較的新しく、複合化後の活用方法について検討が必要である。

D

学校を中心とした 2つの拠点をつくるプラン

【ワークショップの中で発案されたプラン】

- 西浦中学校に西浦公民館を複合化し、多世代の交流拠点を形成します。
- 西浦小学校に、西浦保育園とにしうら児童館を複合化し、子育ての拠点を形成します。



特徴

- 中学校と公民館を複合化することで高齢者や公民館利用者と中学生の交流が期待できる。
- 小学校に保育園・児童館が複合化されることで子育て機能の連携が期待できる。
- アクセス性のよい小学校敷地と高台にある中学校敷地の両方に避難所機能を設置することができる。

【関連する解決策】23467

課題

- 児童生徒数の少ない小中学校をそれぞれ維持していくことになり、コスト負担が大きい。
- 高齢者の利用が多い公民館が高台の中学校敷地に移転することで、利用時の負担が大きくなる。

再配置プラン案の評価検証（修正版）

1 再配置プラン案を比較評価するための評価軸

視 点	内 容	評価項目
①地区の活性化 （まちづくり）	<ul style="list-style-type: none"> 様々な世代が利用でき、イベントにも活用できる地域の活動拠点・交流拠点が整備されているか。 	ア 地区全体を盛り上げるイベントや学校を活用した活動を実施しやすくなったか。（公民館と学校の関係性で評価） イ 一体感のある地域の拠点はできているか。（公民館と他施設との関係で評価） ウ 祭りや神社の行事に若者が参加しやすくなったか。 エ 西浦の地域性が保たれるか。
②人口減少・少子高齢 化社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のコミュニティの場は確保されているか。 様々な世代、地域の方が交流できる場は確保されているか。 子ども同士の交流や、地域で子どもを見守る環境など子育てしやすい環境が整備されているか。 	オ 高齢者の生きがいづくりや活躍の機会は増えているか。（公民館と小学校の関係性で評価） カ 地区住民同士や異なる世代間の交流機会は生まれやすくなったか。（施設同士の関係性で評価） キ 親にとって送迎の利便性が向上しているか。（児童クラブ機能と保育園の位置関係で評価） ク 地域で子どもを日常的に見守る環境が整ったか。（公民館と小学校・中学校・保育園の関係性で評価） ケ 子ども同士の交流機会が増えたか。（学校・保育園・児童館の関係性で評価） コ 保育園児と地区住民との交流機会が増えたか。（保育園と公民館の関係性で評価）
③ 教育環境の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 児童にとって使いやすい児童クラブが整備されているか。 教育環境の向上が期待される複合化、施設配置となっているか。（選択や競争、多くの人と接する機会があるか。） 	コ 小学生にとって児童クラブが利用しやすくなったか。（児童クラブ機能と小学校の位置関係で評価） サ 中学生にとって部活動の選択肢が増えたか。 シ 小中学生が切磋琢磨したり互いに見習う機会が増えたか。（学校規模で評価） ス 小学校と中学校が連携しやすいか。（小学校と中学校の関係性で評価） セ 学校での異年齢との交流機会が増えたか。 ソ 学校と地区住民との交流機会が増えたか。（学校と公民館の関係性で評価） タ 運動会など学校行事が盛り上がりやすいか。 チ 中学生が学習に集中しやすくなったか。 ツ 学校のグラウンドや体育館を児童生徒が授業や課外活動で円滑に利用できるか。
④災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> 避難所の数・機能・位置は適切か。 災害時に安全に子どもを引き取ることができるか。 	テ 避難所収容人数は充足しているか。 ト 津波時の避難所は確保されているか。 ナ 災害時に親が子どもを安全に引き取りやすくなったか。（小学校・中学校・保育園の位置関係で評価）
⑤アクセス性への配 慮	<ul style="list-style-type: none"> 各所から通いやすい施設配置となっているか。特に車を持たない方や児童生徒の通学に配慮されているか。 駐車スペースは十分確保されているか。 	ニ 小学生が徒歩で通学しやすくなったか。（小学校の周辺人口と地形的な立地で評価） ニ 中学生の通学距離は短くなったか。（中学校の立地で評価） ネ 通学の安全性が高まったか。（学校周辺の環境で評価） ノ 保育園に駐車場は十分に確保されるか。 ハ 公民館は高齢者が徒歩で利用しやすくなったか。（公民館の周辺人口と地形的な立地で評価） ヒ 公民館に駐車場は十分に確保されるか。
⑥将来負担（コスト） の縮減	<ul style="list-style-type: none"> 維持更新費用・運営費用は縮減されているか。 跡地は有効に活用されているか。 	一定期間の施設にかかる総コストが低いものを評価する。 ・面積が小さいなど、建設費・改修費・修繕費が安価な場合は総コストが低くなる。 ・土地の売却や借地の返還が発生する場合は、総コストが低くなる。 ・面積が小さいなど、建物の維持管理費（光熱費・保守点検費）が安価な場合は総コストが低くなる。

2 評価方法

- 視点①～⑤については、評価項目ごとに ◎：現状より向上、○：現状維持もしくは一長一短がある、△：現状より低下 の3段階で採点します。
- 視点⑥については、LCC（ライフサイクルコスト）の試算における50年間の縮減額にもとづき評価します。（試算の結果及び条件等は別冊資料「項目ごとの評価の解説」p.16～20のとおり）

視点	評価項目	A案	A'案	B案	C案	D案	
①地区の活性化（まちづくり） 	ア 地区全体を盛り上げるイベントや学校を活用した活動を実施しやすくなったか。（公民館と学校の関係性で評価）	◎	◎	○	◎	◎	
	イ 一体感のある地域の拠点はできているか。（公民館と他施設との関係で評価）	◎	◎	○	○	○	
	ウ 祭りや神社の行事に若者が参加しやすくなったか。	○	○	○	△	○	
	エ 西浦の地域性が保たれているか。	○	○	○	△	○	
②人口減少・少子高齢化社会への対応 	オ 高齢者の生きがいづくりや活躍の機会は増えているか。（公民館と小学校の関係性で評価）	◎	◎	○	◎	○	
	カ 地区住民同士や異なる世代間の交流機会は生まれやすくなったか。（施設同士の関係性で評価）	◎	◎	◎	○	◎	
	キ 親にとって送迎の利便性が向上しているか。（児童クラブ機能と保育園の位置関係で評価）	◎	◎	○	◎	◎	
	ク 地域で子どもを日常的に見守る環境が整ったか。（公民館と小学校・中学校・保育園の関係性で評価）	◎	◎	◎	○	◎	
	ケ 子ども同士の交流機会が増えたか。（学校・保育園・児童館の関係性で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	
	フ 保育園児と地区住民との交流機会が増えたか。（保育園と公民館の関係性で評価）	◎	○	◎	◎	○	
③教育環境の適正化 	コ 小学生にとって児童クラブが利用しやすくなったか。（児童クラブ機能と小学校の位置関係で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	
	サ 中学生にとって部活動の選択肢が増えたか。	○	○	○	◎	○	
	シ 小中学生が切磋琢磨したり互いに見習う機会が増えたか。（学校規模で評価）	◎	◎	◎	◎	○	
	ス 小学校と中学校が連携しやすいか。（小学校と中学校の関係性で評価）	◎	◎	◎	△	○	
	セ 学校での異年齢との交流機会が増えたか。	◎	◎	◎	○	○	
	ソ 学校と地区住民との交流機会が増えたか。（学校と公民館の関係性で評価）	◎	◎	○	○	○	
	タ 運動会など学校行事が盛り上がりやすいか。	◎	◎	◎	○	○	
	チ 中学生が学習に集中しやすくなったか。	△	○	○	○	○	
	ツ 学校のグラウンドや体育館を児童生徒が授業や課外活動で円滑に利用できるか。	△	○	○	○	○	
	④災害時の対応 	テ 避難所収容人数は充足しているか。	○	○	○	○	○
ト 津波時の避難所は確保されているか。	○	○	○	○	○		
ナ 災害時に親が子どもを安全に引き取りやすくなったか。（小学校・中学校・保育園の位置関係で評価）	◎	◎	◎	○	◎		
⑤アクセス性への配慮 	ニ 小学生が徒歩で通学しやすくなったか。（小学校の周辺人口と地形的な立地で評価）	○	○	△	○	○	
	ヌ 中学生の通学距離は短くなったか。（中学校の立地で評価）	○	○	○	△	○	
	ネ 通学の安全性が高まったか。（学校周辺の環境で評価）	◎	◎	△	△	○	
	ノ 保育園に駐車場は十分に確保されるか。	△	○	◎	○	○	
	ハ 公民館は高齢者が徒歩で利用しやすくなったか。（公民館の周辺人口と地形的な立地で評価）	○	○	○	○	△	
	ヒ 公民館に駐車場は十分に確保されるか。	△	○	◎	○	○	
⑥将来負担（コスト）の縮減	LCC（ライフサイクルコスト）試算における50年間の縮減額（単位：百万円）	4,179	4,033	3,560	7,660	2,877	
視点ごとの評価分布 		◎の個数	16	15	12	8	7
		○の個数	8	13	14	15	20
		△の個数	4	0	2	5	1

評価結果点数表（修正版）

- 視点①～⑤については、各評価項目の ◎=2点、○=1点、△=0点として足し合わせ、75点に得点割合を乗じた値を下表のⅠにまとめました。
- 視点⑥については、50年間のLCC（ライフサイクルコスト）の縮減額の最も高い案を25点とし、その他の案は縮減額に比例して減点した値を下表のⅡにまとめました。
- ⅠとⅡを足し合わせ100点満点で合計を計算しました。

Ⅰ 地区の魅力や安全に関する項目（視点①～⑤）についての評価（75点満点）

A案	A'案(追加)	B案	C案	D案
53.57	57.59	50.89	41.52	45.54

Ⅱ 将来負担に関する項目（視点⑥）についての評価（25点満点）

A案	A'案(追加)	B案	C案	D案
13.64	13.16	11.62	25.00	9.39

縮減額 (4,179百万円) (4,033百万円) (3,560百万円) (7,660百万円) (2,877百万円)

合計（Ⅰ＋Ⅱ）（100点満点）

A案	A'案(追加)	B案	C案	D案
67.21	70.75	62.51	66.52	54.93

評価に関する修正意見についての対応及び考え方

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
1	全般	点数で示してしまうと全ての項目を同じ重さで判断することになってしまいが、項目によって重視すべき度合いが違うと思う。◎、○、△の合計数を示し、どの項目でどんな評価がされているかといったざっくりとした分布を見て、判断をした方が良いのではないか。	ご意見の多少が重視されている度合いを表している面があることから、全ての評価項目を同等にみて足し合わせる方式をとっています。何を重視するかは第5回ワークショップでの検討内容とします。 ご意見にもとづき、評価表に◎、○、△の合計数を記載しました。また、評価表に視点ごとの評価分布を掲載しました。
2	全般	学校は今回の公共施設再編で大きく影響を受けるので、再編はより良い教育環境を実現するチャンスだと思う。評価の際には「教育環境の適正化」の項目にもっと重点を置いてほしい。	ご意見の多少が重視されている度合いを表している面があることから、全ての評価項目を同等にみて足し合わせる方式をとっています。何を重視するかは第5回ワークショップでの検討内容とします。
3	① <イ>	C案では小学校や保育園が複合化されて地域の一体感が高まる要素はあるが、中学校が移転することで地域の一体感が下がる側面もあるため◎ではなく○ではないか。	地域活動の拠点となる公民館の近くに立地する施設が増えるため、Cは「◎」としていましたが、ご意見にもとづき「○」に修正しました。
4	① <イ>	「一体感」という言葉が抽象的でわかりにくい。何を達成しようとしているのか明確になっていない。	「『一体感』のある地域の拠点を作る」というご意見にもとづき評価項目を設定しています。 ご意見を多くいただいていた交流や地域行事の盛り上がり等を通じて地区を活性化することを想定して評価項目を設定しています。
5	① <ウ>	住民同士や世代間の交流機会の増減が公共施設の再配置の影響を受けるとは思えない。項目自体が必要ないのではないか。	施設の複合化・集約化により、行事や活動を一体的に実施することで、利用者間の交流を増やすことができると考えています。

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
6	① 〈工〉	公共施設の再配置が、西浦地区の地域性に影響を与えるとは思えない。	「西浦地区と形原地区では住む人の気質や考え方が違い、中学校の形原中学校への編入により地域性が失われる。」とのご意見にもとづき、この評価項目を設定しています。
7	② 〈オ〉	いきがづくりは個人の問題であり、公共施設の再配置とはあまり関係がないと思う。いきがいは高齢者になってから探すのではなく、若い時から自分で見つけていくべきものではないか。	「学校教育のお手伝いとしてボランティア活動にいそしむなど、積極的に高齢者の活躍の場をつくるようにすべきだ。」といったご意見や、「お年寄りの存在が子供の教育面に良い影響を与える。」といったご意見にもとづき、高齢者の利用が多い公民館と小学校の関係性に着目し、この評価項目を設けています。
8	② 〈オ〉	D案では公民館が高台に移転するので高齢者が行きづらくなる。今よりも高齢者の生きがいに繋がらない可能性が高いので、評価は○ではなく△ではないか。	この項目では、公民館と小学校が複合化することで、高齢者と小学生が日常的に交流が行われ、高齢者の生きがいにづくりや活躍の機会が増えると仮定し評価しています。 公民館と小学校が複合化されないD案は、現状維持として「○」としています。高齢者にとっての公民館へのアクセスについては、評価項目ハで評価しており、公民館が高台に移るD案は、「△」としています。
9	② 〈カ〉	C案では小学校に公民館や保育園が複合化されて世代間交流が増える可能性があるが、一方で中学校が移転するため交流が減る側面もある。評価は◎ではなく○ではないか。	ご意見にもとづき、施設の複合化はされるものの、中学校の形原中学校への編入により、地域の方々と中学生との交流機会が減る可能性があるC案を一長一短があるものとして「○」に修正しました。

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
10	② 〈キ〉	中学生であっても怪我や病気の際に送迎する可能性はあるので、「送迎の利便性」の評価には中学校も含めるべき。C案では小学校や保育園の複合化で送迎の利便性が上がるが、中学校は移転するため利便性が下がる。また、小学校に児童館や保育園が複合化されると送迎時に混みあうことも考えられるので、C案の評価は◎ではなく○ではないか。	中学生の怪我や病気等で送迎が必要な場合はありますが、この項目では、日常的に保護者による送迎が必要な保育園児と児童クラブに通う小学生を対象として評価しています。
11	② 〈キ〉	小学校と保育園が複合化されないB案だけが評価が○と低いが、現小学校敷地と現中学校敷地は評価に差をつけるほど離れているとは思えない。	この項目では、子どもを保育園と児童クラブの両方に預けている親にとって、子ども達が1カ所に集まっていることにより送迎の利便性が高まることから評価しています。 小学校と保育園が離れているB案は、距離は近いものの、ワンストップでの送迎が難しいことから、現状維持の「○」としています。
12	② 〈キ〉	地区内のどこに住んでいるかによって利便性の差が大きい。どの地区を基準に考えるかで評価にも違いが出てくるのではないか。	この項目では、子どもを保育園と児童クラブの両方に預けている親にとって、子ども達が1カ所に集まっていることにより送迎の利便性が高まることから評価しています。 ご指摘の通り交通利便性の高さは、それぞれの方々のおかれた状況により違いはありますが、この項目の場合、どの案も保育園の位置に大きな変更はないため、評価結果の違いは無いものと考えます。

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
13	② 〈ク〉	「子どもを見守る環境」については中学生のことも考慮に入れるべきだ。C案では小学校や保育園の複合化で見守りの環境が向上する要素はあるが、中学生が地区から離れて大人の目が行き届かなくなるのに加え、中学生が地域の小学生以下の子どもに目を配る面も減るため、一長一短もしくはマイナスの方が大きい。評価は◎ではなく○か△ではないか。	ご意見にもとづき、大人が日常的に見守る対象として中学生を加えて評価するように、評価の仕方を変更しました。C案は、公民館と小学校・保育園が複合化することで小学生・保育園児の見守り環境が整うものの、中学生が形原中学校に通うことになり、一長一短があるため「○」に修正しました。また、D案は、公民館と中学校の複合化により、中学生の見守り環境が整うと考えられるため「◎」に修正しました。
14	② 〈ケ〉	小学校と保育園の複合化で子ども同士の交流が増える要素はあるが、中学校が移転することで中学生と交流する可能性が減る面もあるため、C案の評価は◎ではなく○ではないか。	C案は、小学生と保育園児との交流機会が増えることに加え、中学生にとっても形原地区の中学生との交流機会が増えることから「◎」としています。
15	③ 〈シ〉	一緒に勉強する人が増えて中学生にとっては切磋琢磨する機会が増えるかもしれないが、小学生にとっては中学生と接触して研鑽する機会が減るため、C案の評価は◎ではなく△ではないか。	学校規模が大きくなり多くの人と接する機会を得ることで、切磋琢磨する機会が増えると考えています。C案について小学校は現状と変わらないが、中学校の学校規模は大きくなっているため「◎」と評価しています。
16	③ 〈ス〉	C案では小学校と中学校が物理的に離れてしまうので、小中学校の連携のしやすさは現状維持ではなく現状より低下すると思う。C案の評価は○ではなく△ではないか。	現状でも小中学校は離れていることから、C案で中学校が地区外に移転するとしても現状維持であると考え「○」と評価しておりましたが、ご意見にもとづき、評価を「△」に修正しました。
17	③ 〈ソ〉	子どもと住民との交流機会なら、学校と公民館の複合だけでなく保育園と公民館の複合も評価するべきだ。	ご意見にもとづき、視点②に評価項目「保育園児と地区住民との交流機会が増えたか。」を追加し、保育園と公民館との関係性で評価しました。

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
18	③ 〈ソ〉	C案では中学校が移転するため「学校と地区住民の交流」が現状より低下する。小学校と公民館が複合すれば交流の機会が増えるとは言えないと思うので、C案の評価は◎ではなく△ではないか。	学校と地区住民が主な利用者である公民館が複合化されることが、学校と地区住民との交流機会が増える要因であると仮定し評価しています。 ご意見にもとづき、小学校は公民館と複合化するものの、中学校が地区外に移転するCは、一長一短があるということで「○」に修正しました。
19	③ 〈ソ〉	D案では公民館が高台に移転し高齢者が行きづらくなるので、「学校と地区住民の交流」は現状より低下すると思う。D案の評価は◎ではなく△か○になるのではないか。	学校と地区住民が主な利用者である公民館が複合化されることが、学校と地区住民との交流機会が増える要因であると仮定し評価しております。 ご意見にもとづき、高齢者が利用しにくい高台に公民館が移転するDは、一長一短があるということで「○」に修正しました。
20	③ 〈タ〉	中学校の移転により地区内で運動会が開催されなくなると、地区としての盛り上がり低下するためC案の評価は○ではなく△ではないか。	運動会などの学校行事が盛り上がるかを評価しており、盛り上がる要因は小学校・中学校が合同で行事が行えることであると仮定して評価しています。 C案の評価は、合同で行事を実施していない現状と変わらないため「○」としてしています。
21	③ 〈チ〉	様々な施設が複合されたり、保育園と複合されることによる中学校の学習環境の変化には、施設配置の工夫や防音対策で対応できるのではないか。	施設の防音対策を施したり運用の仕方により学習環境の変化への対応はできると考えていますが、特に保育園は遊戯の時間などで園庭を利用したりするにぎやかな施設であるため、保育園との複合化に関しては学習環境の悪化の懸念を考慮しA案は、「△」としています。

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
22	③ 〈チ〉	保育園と中学校が一緒になると中学生の学習の妨げになるかどうかは、現場の先生に聞いてみないとわからない。既に一緒になっている学校では、中学生が保育体験できるなどの教育的なメリットがあったという話も聞いたので、一長一短なのではないか。	中学生の静かな学習環境を保つことが必要ではないかとのご意見にもとづき評価項目を設定しております。施設の防音対策を施したり運用の仕方により学習環境の悪化は避けられると考えていますが、これまでのご意見にもとづき、特ににぎやかな施設である保育園と中学校が複合化するA案は、「△」としています。
23	④	防犯の視点が抜けているので、防犯面の評価項目を入れるべきだと思う。	防犯については、施設の配置との関係性が小さいと考えられるため、評価の視点や評価項目に設定していません。防犯の視点での様々な方策については、付帯事項（各案について配慮すべきことや注意すべきこと）として第5回ワークショップであらためてご意見をいただきたいと考えています。
24	④ 〈テ〉	現状の運用を前提とするとC案の収容人数は他の案よりかなり少ないのに、結果的に全ての案が同じ評価になるのは疑問だ。	現状において市全体で愛知県の被害予測にもとづく必要な人数分の避難所を確保しており、施設再配置後も確保していくことになることから全ての案を「○」としています。
25	④ 〈ナ〉	C案の「親が子どもを安全に引き取りやすくなったか」の評価が○になっているが、中学校が形原に移転するのだから△ではないか。	ご指摘の通り中学校が形原中学校に編入され現地から移転するため、中学生の引き取りやすさは現状より低下していますが、小学校と保育園の複合により現状より向上しており、一長一短があるためC案は、「○」と評価しています。
26	⑤ 〈ネ〉	地区でまとまって通学したり、スクールバスを運行することによって、遠方に通学する場合でも安全性は確保できるのではないかと。そういう付帯条件をセットで考えれば評価は異なってくると思う。	ご指摘のとおり運営面の条件により評価が変わるため、スクールバス等の現状行われていないサービスは前提とせずに各項目の評価を行っています。運営面で必要な事項については、付帯事項（各案について配慮すべきことや注意すべきこと）として第5回ワークショップであらためてご意見をいただきたいと考えています。

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
27	⑤ 〈ハ〉	現在利用しにくい公民館の状況を基準にして、再編しても今と変わらないものが〇の評価になっていることに違和感がある。現状よりも良くなる方策を求めたい。	自動車等の交通手段を持たない高齢者も多いということやそうした方にとって配慮が必要とのご意見にもとづきこの評価項目を設けています。 この項目について、現状より利用しやすくするための運用面での方策は、付帯事項（各案について配慮すべきことや注意すべきこと）として第5回ワークショップでご意見をいただきたいと考えています。
28	⑥	コストは重要だが、100点満点中の25点分を占めるのには違和感がある。地域コミュニティや学校教育のことをもっと重視して評価したい。	75点と25点の配点は、蒲郡市公共施設マネジメント基本方針の考え方に基づき設定しました。基本方針における5つのキーワードの内、「実行力」を除く4つの内1つがコストに大きく関わる「適正化」であることから、4分の1をコストの配点割合にしています。それぞれの案の点数は、目安として考えていただければと思います。

付帯事項について

施設の再配置を実施後に配慮しなければならない事項（運営面での工夫等）を抽出・整理しましょう。

（参考）これまでにいただいたご意見

視 点	ご意見
① 地区の活性化 （まちづくり）	<ul style="list-style-type: none"> • 学校の空き部屋や空き家、空き店舗などを公共的な地域の活動場所として活用する • 大企業や小さくても特色ある技術を持った優良企業を誘致する • 字単位の祭りでは地区全体としての盛り上がりや外部へのアピールに欠けるため、地区全体を盛り上げる新たなイベントを企画・推進したい • 海岸等の出入りを自由にすることで、海を観光資源として活用する
② 少子高齢化・人口減少社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> • 宅地化や市営住宅・安い賃貸住宅の提供、税の優遇などにより居住促進を図る • 地域内に産業を誘致し、雇用につなげ、地域で住み続けられるようする • 子どもの医療費負担の軽減、病児保育や祝日保育の実施などによって子育て環境の整備を行う
③ 教育環境の適正化	<ul style="list-style-type: none"> • （小中学校を形原地区と統合する場合）遠距離通学が課題になるがスクールバスなどで補う
④ 災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> • 高台の避難所を維持する場合は高齢者や車椅子利用者に配慮する • 避難所は公共、民間に関わらず設置する • 備蓄品は民間のスーパーや店舗と協定を結んだり、各自で備蓄する
⑤ アクセシビリティへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニティバスの運行・くるりんバスの延伸で、児童・生徒の通学、高齢者の買い物や通院の外出手段を確保する • 徒歩や自転車で安全に通学できるよう、通学路を整備する • 西浦住民にとって不可欠である名鉄蒲郡線の利用を促進 • 西浦で生活が完結できればそれが一番良い（名鉄蒲郡

	線は存続してほしいが)
⑥ 将来負担（コスト）の縮減	<ul style="list-style-type: none"> • 空き地を公共施設整備のために無償で貸すシステムを構築する • 将来の財政負担を軽減するために公共施設の有料化を図る • 維持管理やコミュニティバスの運行に、ボランティアを活用する
⑦ 運営の改善	<ul style="list-style-type: none"> • 形原地区の学区を西浦側にもらうことで児童・生徒数を増やす • 公共施設の催事スケジュールを簡単に見られるようにすることで参加者を増やす • 公共施設を複合化する際は、防犯や防災の機能を取り入れる

本日の検討内容

- ① これまでのワークショップでの検討内容や評価結果を踏まえると、将来の西浦地区の公共施設の配置としてふさわしい案はどの案ですか。
どのようなことを重視してその案を選びましたか。

- ② 皆様が将来の西浦地区にふさわしいと考える再配置プラン案を整理しました。
各案について配慮すべきことや実施する上で注意すべきことはありますか。